

工事現場等における 盗難事例集

令和元年4月から令和6年3月までに発生した盗難の代表的な事例を掲載したものです。
類似の盗難を防止するための安全教育資料等としてご活用下さい。

なお、本事例集で記載している再発防止策(案)は、盗難が発生した状況を踏まえて当該現場で立案された内容の一例(参考)であり、具体的な対策は各現場状況に応じて適宜検討をお願い致します。

令和6年9月
関東地方整備局 企画部

工事現場等における盗難事例集 目次

No.	発生日時	発生場所	工事	被害状況
1	令和元年6月	千葉県	橋梁上部工事	発電機1台
2	令和2年2月	茨城県	地盤改良工事	溶接機1台、テラスター照明機材（発電機2台、水銀灯4灯、安定器2個）
3	令和2年4月	茨城県	環境整備工事	敷鉄板12枚、小型発電機1基
4	令和4年2月	長野県	建築工事	電線ケーブル・撤去ケーブル
5	令和4年4月	茨城県	道路改良工事	敷鉄板10枚
6	令和4年5月	埼玉県	河川維持工事	バックホウ（0.1m³）2台
7	令和4年8月	埼玉県	橋梁上部工事	インパクトドライバー本体バッテリー、充電器、ハンマードリル、レバーブロック
8	令和4年9月～12月 （7件）	茨城県・埼玉県	橋梁下部工事等	門扉（キャスターゲート）15基
9	令和5年3月	茨城県	橋梁上部工事	キャブタイヤケーブル（電気配線） 50m×3回路
10	令和5年4月	埼玉県	橋梁上部工事	電気配線（銅線）
11	令和6年2月	茨城県	橋梁上部工事	インパクトドライバー、インパクトレンチ、バッテリー
12	令和6年3月	茨城県	築堤工事	敷鉄板133枚
13	令和6年5月	栃木県	砂防施設整備工事	バックホウのアタッチメント

【概 要】

発生日時：令和元年6月

発生場所：千葉県

工 事：橋梁上部工事

被害状況：発電機1台



(倉庫)



(仮囲いフェンス)

【盗難状況】

- ・現場内の倉庫4ヵ所がこじ開けられ、その内1ヵ所から発電機が盗まれた。
- ・仮囲いフェンスを取り外して現場内へ侵入したと思われる。

【再発防止策(案)】

- ・シャッター倉庫設置側に人感センサーライト及び防犯カメラを設置する。
- ・作業終了時、シャッター前を工事車両で封鎖する。
- ・ポータブル発電機を持ち帰る。

【概 要】

発生日時：令和2年2月

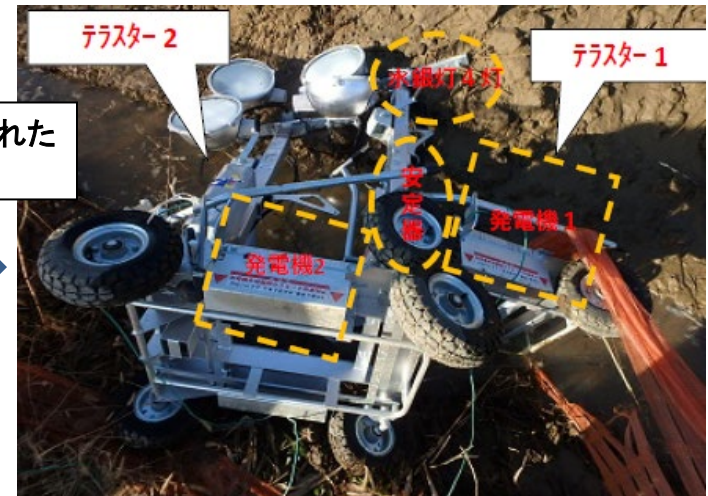
発生場所：茨城県

工 事：地盤改良工事

被害状況：溶接機1台、テラスター照明機材（発電機2台、水銀灯4灯、安定器2個）



現場から離れた
箇所で発見



【盗難状況】

- ・キャスターゲートのチェーンが壊され、現場内の溶接機や照明機材が盗まれた。
- ・盗まれた照明用機材は、テラスターから発電機、水銀灯、安定器が取られた状態で、現場から200m離れた箇所に捨てられていた。

【再発防止策(案)】

- ・出入口は封鎖用重機の台数を増やして、現場進入を防止する。
- ・テラスター等の小機材は、鋼材(アングル材)を使用し、敷鉄板へ溶接固定する。

【概要】

発生日時：令和2年4月

発生場所：茨城県

工 事：環境整備工事

被害状況：敷鉄板12枚、小型発電機1基



車止めポスト状況（南京錠3カ所破壊）



現場休憩所ガラス破壊状況



敷鉄板12枚 盗難後の状況

【盗難状況】

- ・車止めポストの3カ所の南京錠及び現場休憩所の窓ガラスが破壊され、休憩所の中にあった発電機1台と、現場内の連結されていなかった敷鉄板12枚が盗難された。

【再発防止策(案)】

- ・退所時に、場内に入るための進入路にバックホウを置き、大型車両の侵入を防止する。
- ・夜間、警備員を常駐させる。

【概 要】

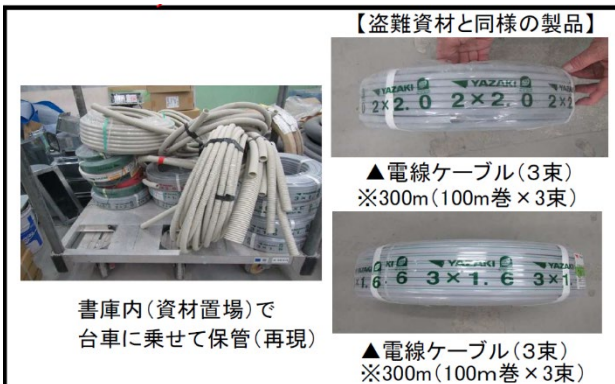
発生日時：令和4年2月

発生場所：長野県

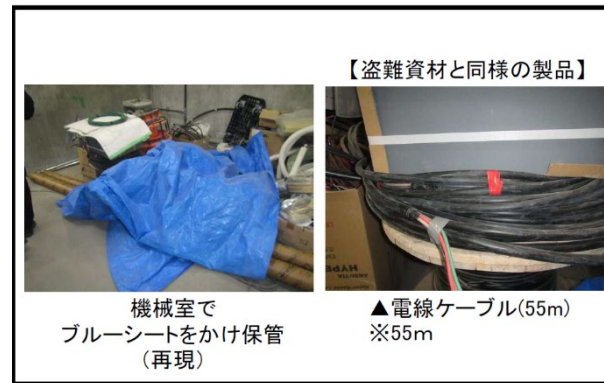
工 事：建築工事

被害状況：電線ケーブル・撤去ケーブル

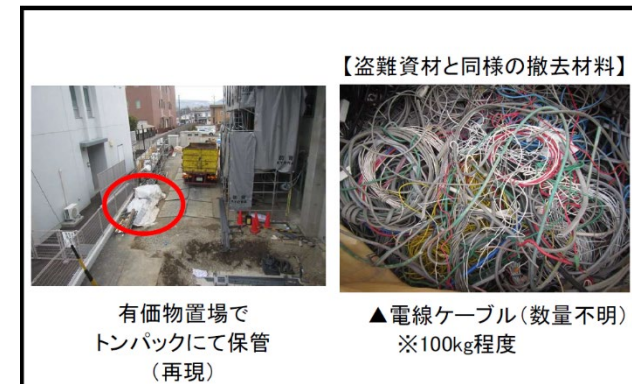
盗難箇所①



盗難箇所②



盗難箇所③



【盗難状況】

- ・下請業者が現場資材置場のシートがめくれていたのでは不審に思い、資材を確認したところ盗難が発覚した。

【再発防止策(案)】

- ・撤去した有価物(電線ケーブル)は資材置場(屋外)から建物内保管に変更する。
- ・資材置場へ監視カメラを設置する。

【概要】

発生日時：令和4年4月

発生場所：茨城県

工事：道路改良工事

被害状況：敷鉄板10枚



【盗難状況】

- ・市道沿いの単管バリケードが移動され、現場内の敷鉄板10枚が盗難された。
- ・敷鉄板はフラットバーで溶接されていたが、サンダー等で切断されていた。

【再発防止策(案)】

- ・溶接箇所を増加し、重機等で塞ぎ進入防止対策を徹底する。
- ・監視カメラを設置し、クラウド方式でリアルタイム及び録画記録を確認できるシステムを構築する。

【概要】

発生日時：令和4年5月

発生場所：埼玉県

工事：河川維持工事

被害状況：バックホウ(0.1m³) 2台



【盗難状況】

- ・盗難箇所へ続く坂路のゲート鍵(南京錠)が壊されていることに気づき、被害が発覚した。
- ・盗難車両は古い機械であった為、GPS装置などの盗難防止装置車両ではなかった。

【再発防止策(案)】

- ・モーションセンサー(パト)ライトを建設機械に取り付ける。
- ・「カメラ撮影中」と記載した看板を設置する。

【概要】

発生日時：令和4年8月

発生場所：埼玉県

工事：橋梁上部工事

被害状況：インパクトドライバー本体バッテリー、充電器、ハンマードリル、レバーブロック



【盗難状況】

- ・下請け業者詰所及び観音開き型倉庫にて盗難被害が発生。
- ・詰所は窓の施錠忘れが発覚、倉庫は扉のダイヤル南京錠が破壊されていた。

【再発防止策(案)】

- ・詰所及び倉庫の施錠を徹底する。
- ・防犯カメラを設置及び「防犯カメラ設置」看板を掲示する。

【概 要】

発生日時：令和4年9月～12月(7件)

発生場所：茨城県・埼玉県

工 事：橋梁下部工事等

被害状況：門扉(キャスターゲート)15基



【盗難状況】

- ・現場に設置していた門扉(キャスターゲート)の盗難が多発。
- ・盗難防止対策として支柱部を溶接していたものの、伸縮部分を切断され盗難された。
- ・金属(アルミ)を狙った犯行であると推定。

【再発防止策(案)】

- ・固定支柱とゲート本体をチェーンおよび南京錠にて固定し、更に車両を横付けして進入防止を図る。
- ・アルミゲートから単管バリケードまたはB型フェンスに変更する。

【概 要】

発生日時：令和5年3月

発生場所：茨城県

工 事：橋梁上部工事

被害状況：キャプタイヤケーブル(電気配線) 50m×3回路



【盗難状況】

- ・前工事から引き継いだキャプタイヤケーブルが切断され、盗難されていた。

【再発防止策(案)】

- ・監視カメラを設置する。
- ・夜間、作業員休憩所の電気をつけておく。

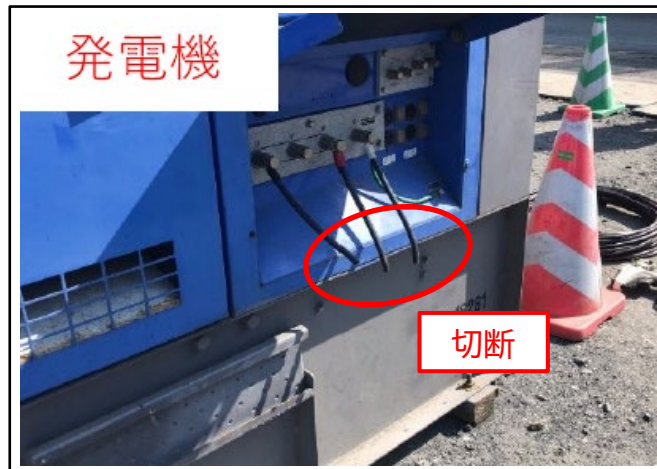
【概要】

発生日時：令和5年4月

発生場所：埼玉県

工事：橋梁上部工事

被害状況：電気配線(銅線)



【盗難状況】

- ・現場詰所と発電機を繋ぐ電気配線の盗難被害が発生した。
- ・盗難された銅線の一部は通電しておらず存置していた銅線であった。

【再発防止策(案)】

- ・不要な配線については速やかに撤去する。
- ・発電機から詰所への配線については、シート、ネットによる養生を行い盗難を防止する。

【概要】

発生日時：令和6年2月

発生場所：茨城県

工事：橋梁上部工事

被害状況：インパクトドライバー、インパクトレンチ、バッテリー



盗難物置場①



盗難物置場②



盗難物置場③



【盗難状況】

・休憩所の窓ガラスが壊され、中に置いてあった工具類の盗難被害が発生した。

【再発防止策(案)】

- ・貴重品の持ち帰りを徹底する。
- ・休憩所入口付近に監視カメラを設置する。

【概要】

発生日時：令和6年3月

発生場所：茨城県

工事：築堤工事

被害状況：敷鉄板133枚

 被害に遭った敷鉄板



入口ゲート



【盗難状況】

- ・工事用道路として敷設してあった敷鉄板133枚が盗難された。
- ・盗難防止措置として入口ゲートに大型土のう等を設置していたが、移動され侵入された。

【再発防止策(案)】

- ・工事車両を入口ゲートに設置し侵入を防止する。

【概 要】

発生日時：令和6年5月

発生場所：栃木県

工 事：砂防施設整備工事

被害状況：バックホウのアタッチメント



アイアンフォークが外され盗難された

【盗難状況】

・バックホウのアタッチメントのアイアンフォークがバックホウから外され盗難されていた。

【再発防止策(案)】

・作業日ごとに作業終了後に重機類を回送し、保管管理を行う。